

宮崎発夢未来～感動の共感を世界中に

みやざき中央新聞

〒880-0911 宮崎県宮崎市田吉6207-3 info@miya-chu.jp Tel(0985)53-2600 Fax(0985)53-5800
毎週月曜日(第5月曜日は除く)、月4回発行/1か月1,080円(税・送料込)

4月4日(月)

2016年(平成28年)

2642号

1面

菊池 恭二さん……………魂を継ぐ～No. 1

工藤 房美さん……………奇跡! 余命1か月からの生還～No. 2

藤尾 まさよさん……………沈黙から目覚めへ～No. 4

中野 有美さん……………ストレス対処の秘訣とは?～No. 3(終)

李 久惟さん……………日本人に隠された《真実の台湾史》～No. 7

野中 千尋……………取材ノート「読書で見つける、響く言葉」

2
面
記
事

努力している若者の清さに触れて

岐阜県にある榊タニサケの会長・松岡浩 「チームが思うような

さんは、これまでに20冊ほど小冊子を発行方向に向かっていたかな

している。2年前に刊行された『一流の日記』で悩んでいました。こんなにきつい

本人をめざして『はその中の1冊だ。若者ことがあるのかというくらいドン底を味

へ向けた23本のエッセイが綴られている。わいました。『なんで自分だけこんな思い

その小冊子を手にした1人の僧侶が、知をしなければならぬのか』と。でもこの

り合い2人の高校教師にプレゼントした。本にあるように、逆境は強い人にしか与え

1人は北海道の稚内^{わっかない}高校野球部の先生、られない。つらいときは伸びるための絶好

もう1人は熊本県の私立開新高校空手道のチャンスなんだと思えば、『よし、やって

部の先生。実は、生徒たちに読んでほしくやろう』という気持ちになりました」

て、部員の数だけ贈った。 同じく1年生の福田堅志朗君は「一隅を

先日、その生徒たちの感想文を読ませて照らす」という章を読んで、「この言葉は、

もらう機会があった。松岡さんのメッセージどんなに小さなことでも、その中に自分を

ジがストレートに響いていて、驚いた。 鍛えてくれるものが必ずあるから、できる

その一部を紹介しよう。(文責編集部) 限りの努力をしろ、という意味だと知り、

開新高校空手道部主将の大田黒皓也君。今までやってきた掃除や挨拶の大切さを

彼は全国大会出場チームの主将としての改めて感じました」と綴っていた。

苦悩を吐露していた。 彼は、これまで掃除は次に使う人のた



長^{ひとり}集^{ひと}編^{ひと}の魂
水谷 謹

めに、ほごり一つ残さぬよう隅々まできれいにしていた。挨拶は相手に気持ちよくなってもらうために、相手の目を見てすることを中心掛けてきた。その彼がこう言っている。「しかし、この本を読んでこのようなことは誰かのためにすることではなく、すべて自分に返ってくることで」と気づきました。そういう行為を積

いくことが大切なんだと思いました」

次は、稚内高校野球部1年生の小板谷^{こいたや}凌太君。

「中学生の頃、野球部の主将をやっていました。1年間で全ての部員が成長しましたが、それぞれの成長の度合いが違っていました。その基準は素直さにありました。他人の指摘を素直に受け入れられた人は一目で分かるほど成長していました。しかし、他人の指摘を聞こうとしない自分勝手な人は成長の度合いが小さかったです。自分にこのような経験があったので、この本の中の『成長は素直さに比例する』という言葉が強く印象に残りました」

2年生の矢部永吉君の心に残った章は「頭の偏差値より心の偏差値を」だった。

み重ねることで自分が磨かれていくんだと。最高の自分を発揮するためには小さい一つひとつのことに真摯に向き合っ

てと社会に出ても通用しないと思います。挨拶

擧げができないのは若者だけじゃなく、大人

にもたくさんいます。私が元氣にあいさつしても返事をしない大人や狭い歩道で道を譲ってあげたときもお礼を言わずに通り過ぎる大人がいるから、挨拶もできない子どもが増えていくんだと思います」

そして、1年生の北辻翔基君が選んだのは「日本精神」という章。「この本には、日本精神とは忠誠心が驚くほど強く、何事にも積極的であると書かれています、今の日

本人とかなり異なるところがあると感じました」

看護師を目指してい

る1年生の岩出駿太郎君は「この本を読んで気付いたことがあります。それは立派な看護師になるには『一流の日本人』になる必要があるということです」など、大人に警鐘を鳴らしているような感想にハッと

させられた。

部活動の中で日々鍛えられ、大きな目標に向かって努力している彼らだからこそ、至極当然のメッセージでも素直に受け止めることができたのだらう。

日々何かに向かって努力していないと珠玉のような言葉に出合っても受け流してしまうかもしれない。人間は努力すべき生き物だと、改めて思う。